



みのしま

令和4年12月21日
有田市立箕島小学校
第82号

たわわに実った「優しい木の实」



12月10日(土)は世界人権デー。1948年に国際連合で「世界人権宣言」が採択された日です。法務省の人権擁護機関では、人権デーを最終日とする1週間(12月4日から12月10日)を「人権週間」と定め、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。

箕島小学校でも、この期間を「箕小人権週間」と定め、人権についてもう一度勉強して考える取組を行いました。2日(金)に人権担当教員から全校児童に「人権とは何か」を説明し、「思いやり」とは自分を大切にしながら相手のことも考えることなどを話しました。それを受け、各学級で人権学習や人権週間の取組を行いました。

児童会の取組では、児童玄関に「人権の木」を設置しました。「自分が優しくしてもらったこと」「友だちが優しいなと思ったこと」を、青と赤の木の実に記して掲示しました。

学級や学校にはいろいろな子どもたちがいます。みんな良いところを持っています。これからも、一人ひとりの長所を認めて伸ばして行きましょう。自分がされて嫌なことをしない。自分がされて嫌でなくても、その人が嫌だと思わない。相手が喜ぶ言葉をかけて、良いと思うことをどんどんしましょう。嫌いな人や苦手な人がいなくなる、それがみんなと仲良くできて、自分も幸せになれることではないでしょうか。



平和への願いを込めて
教育塔に新しいプレート

体育館の玄関前の「教育塔」に銀のプレートをつけました・

この「教育塔」は昭和27年に、わが世界的彫刻家として有名な辻晋三先生が箕島小学校の子どもたちのために作ってくださり、寄贈していただいたものです。

この像には1人の教師と4人の子どもが肩を寄せ合っている姿が立てられています。戦後まもないその時代に、辻先生の「みんなが平和に学校生活を送れるように」という願いが込められているように思います。

今、世界では戦争や飢餓で満足に教育を受けられない子どももたくさんいます。この像を見て、かわいい子どもたちと学校で楽しく生活できる幸せを改めて感じました。